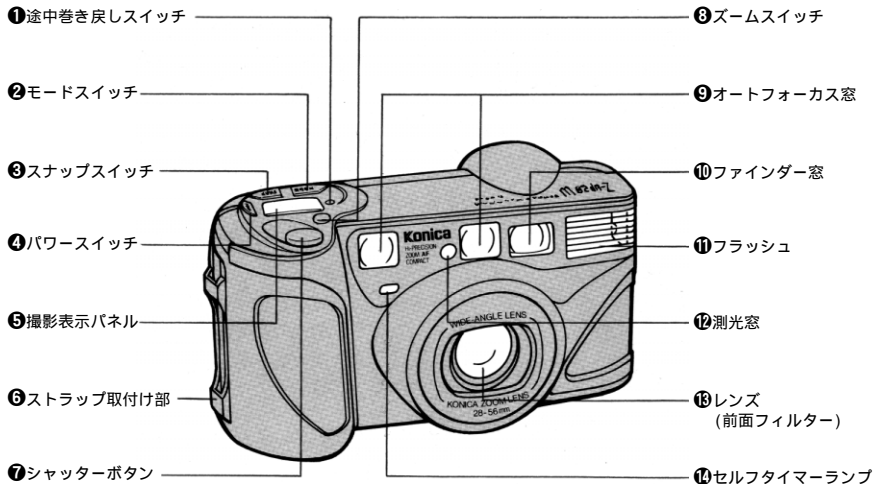
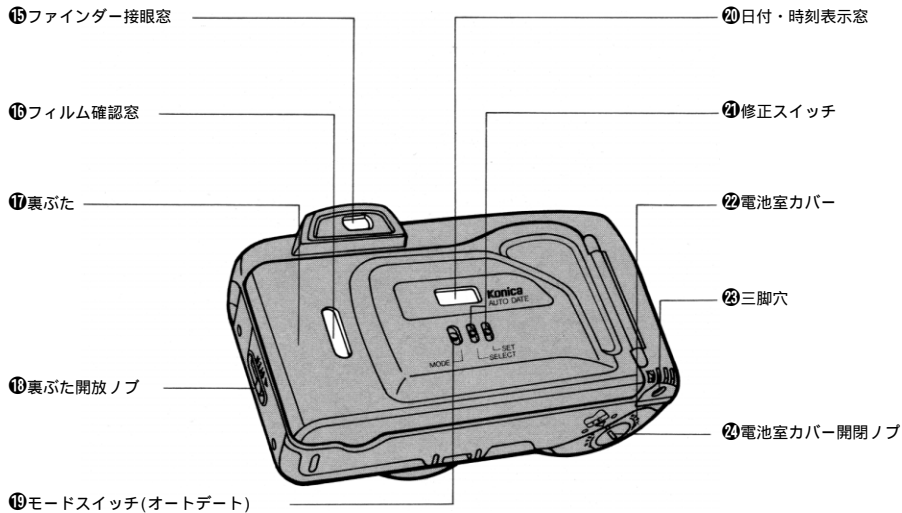
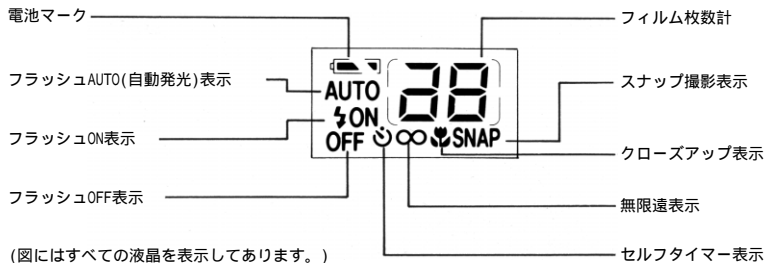
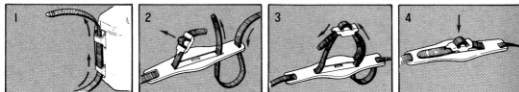
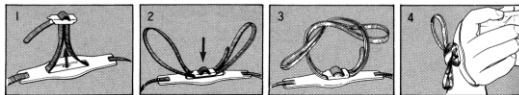
Konica Z-up28W

使用説明書

各部の名称

❶途中巻き戻しスイッチ
❷モードスイッチ
❸スナップスイッチ
❹パワースイッチ
❺撮影表示パネル
❻ストラップ取付け部
❼シャッターボタン
❽ズームスイッチ
❾オートフォーカス窓
❿ファインダー窓
⓫フラッシュ
⓬測光窓
⓭レンズ
(前面フィルター)
⓮セルフタイマーランプ
Konica
Hi-PRECISION
ZOOM AF
COMPACT
WIDE-ANGLE LENS
KONICA ZOOM LENS
28-56mm

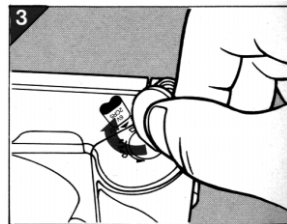
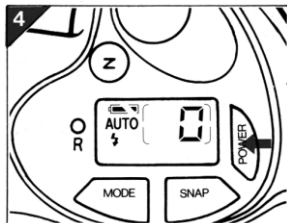
⑮ファインダー接眼窓
⑯フィルム確認窓
⑰裏ぶた
⑱裏ぶた開放ノブ
⑲モードスイッチ(オートデート)
⑳日付・時刻表示窓
㉑修正スイッチ
㉒電池室カバー
㉓三脚穴
㉔電池室カバー開閉ノブ
Konica
AUTO DATE
MODE
SET
SELECT

撮影表示パネル各部の名称

ストラップの取付け方

基本撮影

電池の入れ方、フィルムの入れ方、構え方、ファインダーの見方、一般撮影、自動フラッシュ撮影、フォーカスロック撮影、フィルムの取出し方など基本撮影の手順と操作を説明します。

1．まず電池を入れてください

このカメラは電池を入れないと動きません。
パッケージ内の電池を入れてください。

電池室カバー開閉ノブの溝にコインなどを当て，OPENの矢印方向に回してから、電池室カバーを上方にはずします。

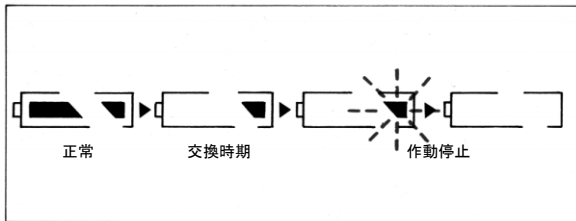
電池をカメラ底面の表示に合わせて正しく入れます。

電池室カバーをはめ、カバーを押さえながらCLOSEの矢印方向に回して、電池室カバー開閉ノブの溝と■印を合わせると、ロックされます。

パワースイッチを押すと、撮影表示パネルに

(電池マーク)

AUTO(フラッシュAUTO)

(フィルム枚数計)

が現われ電源ONになります。

＊ パワースイッチをもう一度押すと電源OFFになります。電源OFFのときには電池マークだけ点灯し、他のマークは消灯します。

電池交換の時期

電池が消耗して、電池マークが2/3白くなったらお早めに新しい電池と交換してください。

＊ 使用電池はリチウム電池2CR5：6V、１コです。

＊ 撮影途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影したあと電池を交換してください。

＊ 万一撮影中に電池マークが点滅したあと白くなると、シャッターがロックされます。このときは途中巻き戻しをしてください。

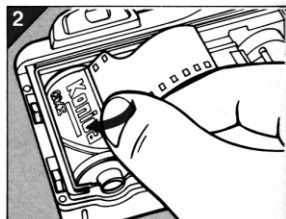
2．フィルムを入れてください

このカメラは、DXコードの付いたパトローネ入り35㎜(135)フィルムを使用します。フィルムをカメラに入れると同時に、使用フィルムの感度(ISO25〜3200)が自動的にセットされます。

＊ DXコードのないフィルムは、すべてISO25に設定されます。

＊ リバーサルカラーフィルム(スライド用)は、ISO25、50、100、200、400をご使用ください。

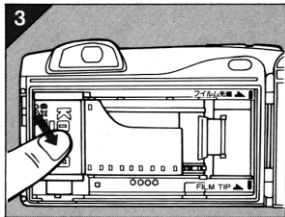
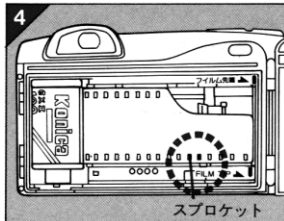
＊ コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

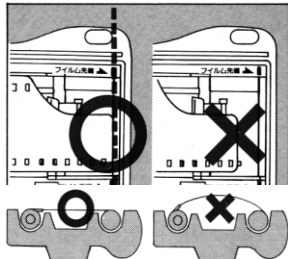
裏ぶた開放ノブを押し下げ裏ぶたを開けます。

フィルムを入れます。

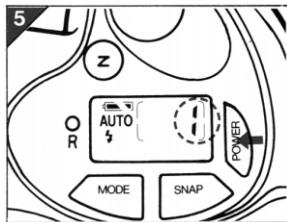
＊ カメラ内部のレンズに指を触れないようにご注意下さい。

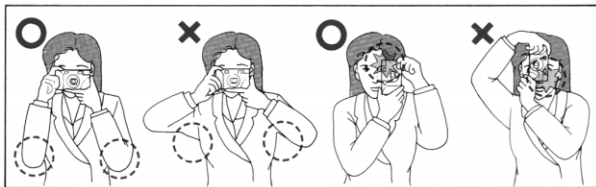
＊ もしレンズに指紋を付けたり、ゴミが付いたときは、軟らかい乾いた布で拭き取ってください。

使用フィルム感度のDX導入感度

DX導入感度(ISO)	25	50	100	200	400	800	1600	3200
使用フィルム感度(ISO)	25	50	100	200	400	800	1600	3200
	32	64	125	250	500	1000	2000	—
	40	80	160	320	640	1250	2500	—

パトローネ(フィルムの容器)をカチッと音がするまで押して入れ、フィルムが平らに出るようにします。

フィルムを少し引き出し、先端をカメラ内部の先端マーク(◢ ▮)に合わせて、裏ぶたを閉じます。

＊ フィルムのパーフォレーション(送り穴)とスプロケット(送り歯車)のかみ合わせを確認してください。

＊ フィルム確認窓を見れば、フィルムが入っているかどうかわかります。

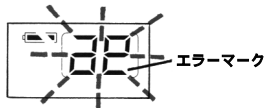
3．正しい構え方

パワースイッチを押すと、フィルムは１枚目の撮影位置まで自動的に送られます。

＊ ISO25のフィルム使用の場合は､シャッターボタンを押してください。

カメラ背部を頬に当て、両ヒジを軽く締めると安定します。ヒジを開くとカメラぶれをしやすくなります。

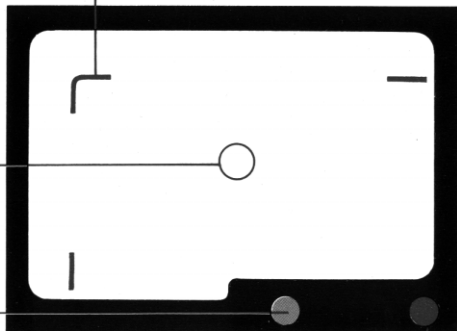
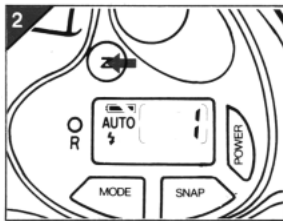
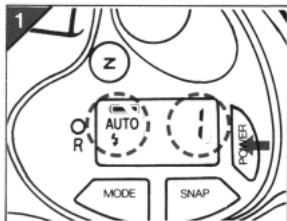
＊ 指の腹でシャッターボタンを静かに押してください。

タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュを上に構えてください。フラッシュを下にして発光すると、写真が不自然になります。

＊ 指や毛髪などが、レンズやオートフォーカス窓、測光窓をじゃましないように気をつけましょう。

フィルムが送られていないときは

フィルム枚数計にエラーマークが出て点滅します。フィルムを入れ直してください。

4．ファインダーの見方

このファインダーは実像式で、見える範囲がそのまま写ります。

5．いよいよ撮影です(一般撮影)

ϟ AUTO 、 1 (フィルム枚数計)が点灯していないときは、パワースイッチを押し、電源ONにします。

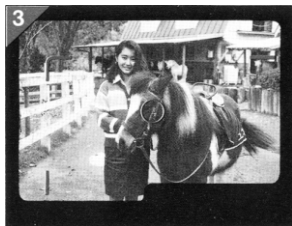
＊ 前面フィルターの汚れにご注意ください。もし汚れていたら、きれいに拭き取ってください。

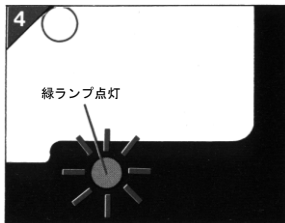
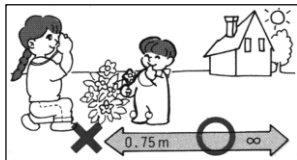
ファインダー接眼窓をのぞいてズームスイッチを押し、希望の構図位置になったとき指を離して止めます。

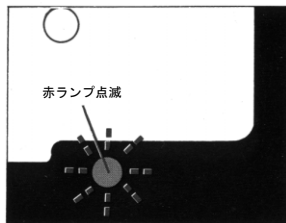
＊ ズームスイッチを押している間、28㎜→56㎜→28㎜と画角の移動を繰り返します。

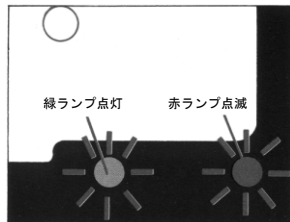
＊ ファインダーの視野もレンズに連動して変わります。

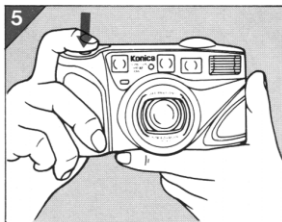
28㎜

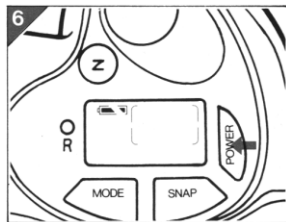
56㎜

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

日中撮影の距離

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

＊ 緑ランプと同時にセルフタイマーランプが，点灯するので、写される人にも撮影のタイミングがわかります。

シャッターボタン半押しで、緑ランプが点滅したときは…

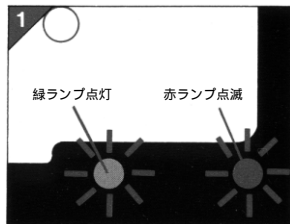
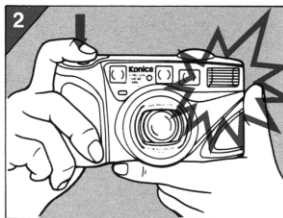
被写体が近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがロックされます。少し離れてシャッターボタンを押し直すか、クローズアップ撮影をしてください。

シャッターボタン半押しで、赤ランプが点灯したときは……

暗すぎるので、自動的にフラッシュが発光するという表示です。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

＊ 撮影が終るとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルム枚数計の数字が１つ進みます。

撮影が終わったら、パワースイッチを押して、電源OFFにしてください。

＊ レンズが収納され、撮影表示パネルは電池マークだけの点灯となります。

＊ 電源ONのまま放置しても、30分後に自動的に電源OFFとなります。

6．自動フラッシュ撮影

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したら、フラッシュが自動発光します。

シャッターボタンをいっぱいに押してフラッシュ撮影してください。

＊ フラッシュ撮影後、赤ランプが数秒間点灯した後消えますが、この間は充電中ですから、シャッターはきれません。

＊ フラッシュ充電中でもズーム作動とモードの切替えができます。このとき充電は打ち切られ、シャッターボタンを押したとき、残りの充電が行われます。

フラッシュ撮影の距離

28mm	ISO 100	0.75m～5.3m
	ISO 400	0.75m～10m
56mm	ISO 100	0.75m～2.8m
	ISO 400	0.75m～5.6m

人物をフラッシュ撮影するときのご注意

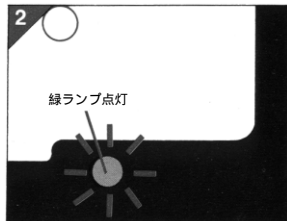
室内など暗い所で人物をフラッシュ撮影すると、目が赤く写ることがあります(赤目現象)。これは目の瞳孔が開きフラッシュ光が網膜に反射するために起きますが、写される人により個人差があります。次の方法で赤目を減少できます。

1) 照明のある明るい室内(新聞が読める程度)で撮影します。

2) レンズを28mm側にセットし、人物に近づいて撮影します。

7．フォーカスロック撮影　被写体を画面中央からはずした撮影

画面の両側に人物がいる撮影など、オートフォーカスフレームから被写体がはずれていると、ピントがバックの風景に合ってしまい、人物がぼけてしまいます。こういうとき、フォーカスロック撮影をすれば、シャープな写真が写せます。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯してピント位置が固定されます。

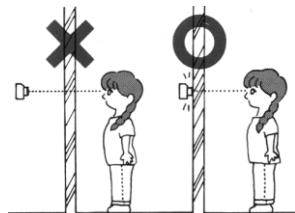
＊ 緑ランプと同時にセルフタイマーランプが点灯します。

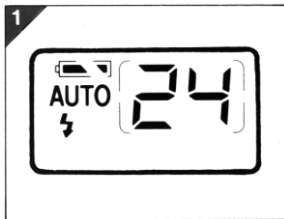
＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すと、フォーカスロックは解除され、やり直しができます。

＊ フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

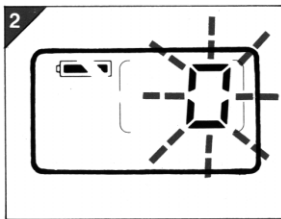
半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをいっぱいに押して撮影します。

オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

反射しにくい黒いもの､光沢のあるもの、発光体、小さいもの、細かいものは測距しにくいのでスナップ撮影に切替えてください。等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックする方法もあります。

* ガラス越しの撮影は、オートフォーカスが働かない場合がありますから、同じ距離のものに向けてフォーカスロックしてください。また、ガラスに密着させても正しい測距ができます。
* ガラス越しの遠景撮影では、無限遠モードで撮影してください。

8．フィルムの取り出し方

フィルムが最後になると、自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルム枚数計は、巻き戻しに連動して逆算します。

＊ 写し終わったフィルムは、お早めにカメラ店にお持ちになり、「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。美しいカラープリントに仕上ります。

巻き戻し完了で自動的に停止します。フィルム枚数計の 0 の点滅を確認した上で裏ぶたを開け、フィルムを取り出してください。

＊ レンズがどの位置にあっても、巻き戻し終了で収納されます。

＊ 裏ぶたを開けるとフィルム枚数計の0が一瞬点灯し、電源OFFになります。

途中巻き戻しの方法

途中巻き戻し(R)スイッチをストラップ金具の凸部で押すと、撮影途中のフィルム巻き戻しができます。

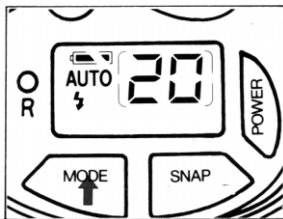
＊ 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

＊ 裏ぶたを開けた状態で、途中巻き戻しスイッチを押さないでください。レンズなどが作動を繰り返しますが、裏ぶたを閉じれば解除されます。

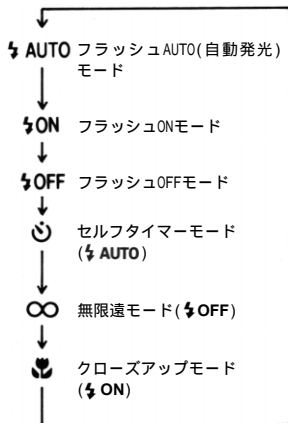
応用撮影１

モードスイッチの切替えによって、日中フラッシュ、スローシャッターシンクロ、夕・夜景の撮影、セルフタイマー撮影、遠景撮影、クローズアップ撮影ができます。

1．モードスイッチの操作

フラッシュ自動発光の一般撮影から、日中フラッシュ撮影、スローシャッターシンクロ、夕・夜景の撮影、さらには、セルフタイマー撮影、遠景(無限遠)撮影、クローズアップ撮影まで、撮影モードの切替えによって、様々な撮影のバリエーションが楽しめます。

モードスイッチを押すと、撮影表示パネル上に６つのモードが、順次表示され循環します。

＊ 通常は AUTO になっています。

＊ ON、 OFF、∞、 の各モードは固定され、一度設定したモード撮影を続けられます。撮影が終わったら、 AUTOに戻しておきましょう。

＊ は１コマ撮影後 AUTO に自動復帰します。

2．日中フラッシュ撮影：フラッシュONモード

フラッシュが常時発光するモードです。逆光や室内窓際の人物、くもりや日陰の人物を明るくきれいに写します。

モードスイッチを押して撮影表示パネルに ϟ ONを出します。

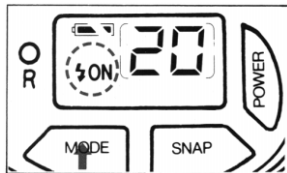
フラッシュなし

フラッシュ撮影

被写体に向けてシャッターをきれば、明るいところでもフラッシュが発光します。

＊ シャッターボタン半押しで、緑ランプと同時に赤ランプが点灯します。

3．スローシャッターシンクロ：フラッシュONモード

⚡ONモードで夕・夜景をバックに人物を写すと、暗い背景も共に明るく雰囲気のある写真が写せます。

モードスイッチを押して撮影表示パネルに⚡ONを出します。

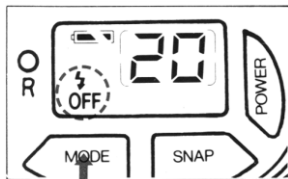
⚡ AUTO のフラッシュ撮影

スローシャッターシンクロ

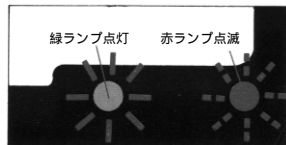
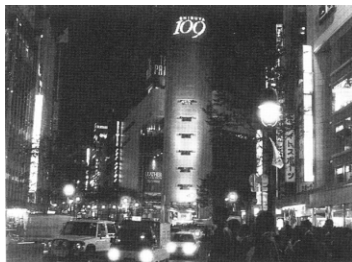
暗い場所で被写体に向けてシャッターをきれば、1/15秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

＊ カメラぶれをしやすいので、三脚をご使用ください。

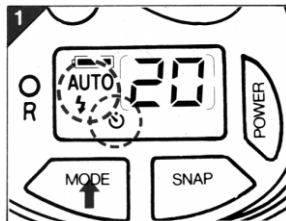
4．夕・夜景の撮影：フラッシュOFFモード

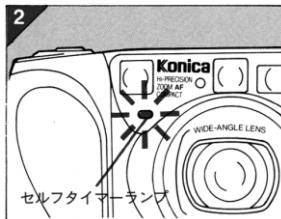
フラッシュが発光しないモードです。夕景や都会の夜景など、スローシャッターによる自動露出撮影ができます。

モードスイッチを押して、撮影表示パネル ⚡ OFFを出します。
被写体に向けてシャッターをきれば、1/4秒までフラッシュなしの自動露出撮影ができます。

シャッターボタン半押しで赤ランプが点滅したときはカメラぶれの警告です。

暗くて自動露出が働かないときは、最長２秒の超スローシャッターに切替わります。(２秒バルブ)
このときはシャッターボタン半押しで赤ランプがゆっくり点滅します。

＊ ２秒バルブは、２秒以内であれば、シャッターボタンを押している間、シャッターが開いたままになります。

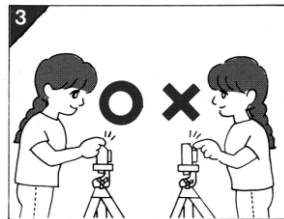
＊ カメラぶれをしやすいので、三脚をご使用ください。

5．セルフタイマー撮影：セルフタイマーモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに ⏲ を出します。

＊ セルフタイマーモードにセットすると、⚡AUTOになります。

被写体に向けてシャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

＊ スタートと同時に、セルフタイマーランプが点灯し、シャッターがきれる３秒前に点滅に切替わります。

＊ フィルム枚数計に代わって、残りの秒数が表示されます。

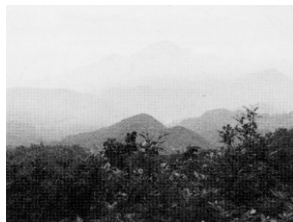
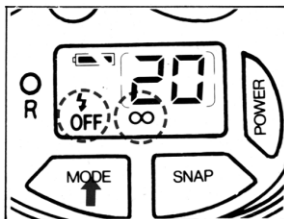
＊ 三脚をご使用ください。

＊ スタートはカメラのうしろから操作してください。前からでは近すぎてシャッターがロックされます。

＊ フォーカスロックもできます。

＊ セルフタイマー撮影が終わると、モードが⚡AUTOに戻ります。続けてセルフ撮影をするときは、セットし直してください。

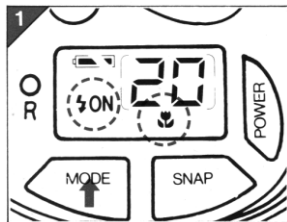
＊ 作動中にキャンセルしたいときは、パワースイッチを押してください。

６．遠景撮影：無限遠モード

風景撮影や窓ガラス越しの遠景撮影にこのモードをご使用ください。ピントが遠景に固定され、シャープな風景写真が写せます

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに∞を出します。

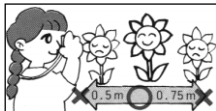
＊ ∞にセットすると、ϟOFFになり、フラッシュは発光しません。

＊ 光量の足りないときは、スローシャッターになりますから、三脚をご使用ください。

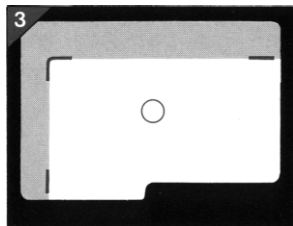
7．クローズアップ撮影：クローズアップモード

モードスイッチを押して、撮影表示パネルに🌷を出します。

＊ このモードは⚡ONになりフラッシュが常時発光します。

＊ レンズを56㎜にして写すと、最もクローズアップ効果がでます。

クローズアップの撮影距離

撮影距離0.5m〜0.75mに近づき被写体をオートフォーカスフレームに入れます。

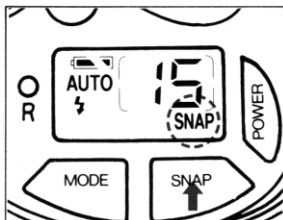
シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは…

0.5mより近すぎるか、0.75mより遠すぎます。
シャッターがロックされたときは、適正な距離にしてから押し直してください。

クローズアップ撮影では、ファインダーの近接修正マーク内で構図を決めてください。
シャッターをきるとフラッシュが発光し、明るくシャープなクローズアップ撮影ができます。

応用撮影２

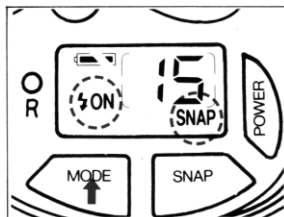
スナップモードに切替えてスナップ撮影、連続撮影、２コマセルフタイマー撮影ができます。ϟON、ϟOFFの撮影も可能です。

1．撮影モードの切替え

スナップモードでは、ϟ AUTOのほか、ϟON、ϟOFFの撮影ができます。また連続撮影や特殊な２コマセルフタイマー撮影も楽しめます。

スナップスイッチを押すと、撮影表示パネル上にSNAP のマークが表示され、スナップモードになります。

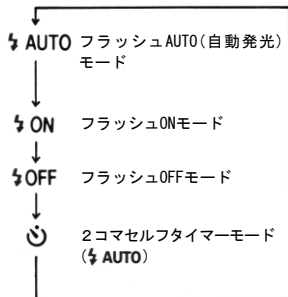
＊ レンズがどの位置にあっても28㎜に戻り、撮影モードはϟ AUTO になります。

＊ スナップモードでは、ズーム作動はしません。

＊ スナップスイッチをもう一度押すと、一般撮影に戻ります。

スナップモードにセットした後モードスイッチを押すと、撮影表示パネル上に４つのモードが、順次表示され循環します。

＊ ϟON、ϟOFFの各モードは固定され、一度設定したモードで撮影を続けられます。撮影が終わってからϟ AUTO に戻しましょう。

＊ ⏲は２コマ撮影後 ϟ AUTO に自動復帰します。

2．スナップ撮影

＊ ONは日中フラッシュによるスナップ撮影時にセットします。
操作の方法は一般の日中フラッシュ撮影と同じです。

＊ OFFはフラッシュなしの撮影時にセットしますが、暗いときはスローシャッターになります。

＊ ON、OFFを先にセットした後SNAP モードに切替えるとAUTOになります。

スナップ撮影に、最適な条件を設定したのがスナップモードです。
スナップモードではレンズが28㎜にセットされます。

- オートフォーカスフレームを気にしない撮影
- オートフォーカスが正しく働きにくい物の撮影にもご活用ください。

＊ １ｍ以内に近接したときは、シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅し、シャッターがロックされます。

＊ シャッターを押し続けると連続撮影になりますのでご注意ください。

スナップモードに切替えて、オートフォーカスフレームを気にせずに撮影してください。

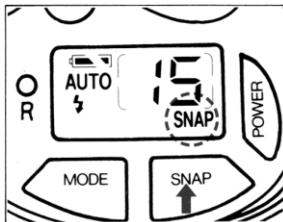
撮影範囲

日中晴天のとき：１ｍ～５ｍ
くもり日・室内：１ｍ～３ｍ

３．連続撮影

スナップモードでは、１秒間に最高２コマの連続撮影によって、動きの速い被写体の変化をとらえることができます。

＊ 被写体が明るい所から暗い所、暗い所から明るい所に変わっても、自動露出が明るさの変化に対応して働きます。

＊ 連続撮影の間に、被写体が1m以内に近づいたり、不意に人などが横切った場合、シャッターがロックされます。

スナップスイッチを押して、撮影表示パネルにSNAPを出します。

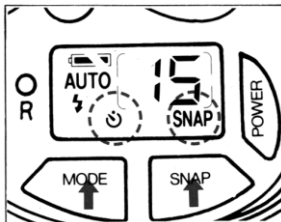
被写体に向けてシャッターボタンを押し続けると、シャッター作動とフィルム送りが繰り返されます。

＊ 指を離すと撮影が終わります。

＊ ⚡ON、⚡OFFでも連続撮影できます。

＊ フラッシュ発光時や自動露出撮影でシャッター速度が遅くなるときは撮影間隔が長くなります。

4．２コマセルフタイマー撮影

スナップモードでセルフタイマー撮影をすると、１回目の撮影に続いてもう一度シャッターが作動し、２回目が写されます。
緊張した表情から、一転してリラックスした瞬間にもう１枚写すという、効果的な記念撮影ができるのが、２コマセルフタイマー撮影の特徴です。

スナップスイッチを押して、撮影表示パネルにSNAP を出し、モードスイッチを押して、ꝏ を出します。

＊ このときの撮影モードは ϟ AUTO になります。

被写体に向けてシャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれ、さらに約３秒後に２回目の撮影が行われます。

＊ フラッシュ発光の場合は、充電時間がかかるため、２回目の撮影までの間隔が長くなります。

＊ 撮影が終わるとモードは ϟ AUTO に戻ります。

＊ その他の操作は、一般のセルフタイマー撮影と同じです。

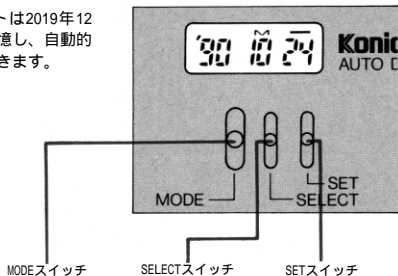
セルフタイマー残り秒数（フィルム枚数計）の表示

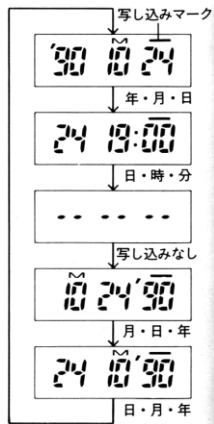
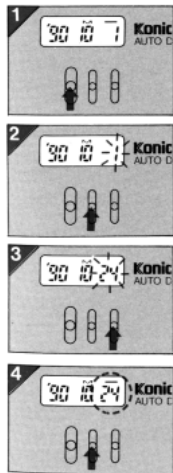
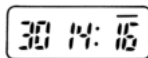
１回目スタート（10・９・８……１）　１回目の撮影　撮影枚数表示　２回目スタート（３・２・１）　２回目の撮影　撮影枚数表示

オートデート

このカメラのオートデートは2019年12月31までの日付・時刻を記憶し、自動的に画面に写し込むことができます。

表示モードの切替え

MODEスイッチを押して、年月日、日時分、写し込みなしを選びます。

写し込みの位置とバック

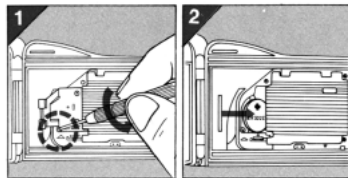
写し込みの位置が明るい場合、白い場合は、デート文字がはっきり出ないことがありますから、ご注意ください。

日付・時刻の修正

1) MODEスイッチで日付(時分)を表示します。
2) SELECTスイッチを押して、修正する日付(時分)を点滅させます。
3) SETスイッチを押して、日付(時分)を点滅のまま修正します。
4) SELECTスイッチを押すと，点滅が点灯となり、━ のマークが現われて写し込みの状態になります。

＊ 分を修正した後SELECTスイッチを押すと、:が点滅します。もう一度SELECTスイッチを押して写し込みの状態にしてください。

＊ 秒まで合わせるには、:の点滅時に時報に合わせてSETスイッチを押します。
さらにSELECTスイッチを押して写し込みの状態にしてください。

オートデート用電池の交換

オートデート用電池として、リチウム電池(CR2025：3V)を使用しています。およその交換時期は約４年です。
デート文字が見えにくくなったら、新しい電池と交換してください。

＊ 電池交換後は、日付・時刻を修正してください。

電池交換の方法

おもな仕様

形式	レンズシャッター式広角ズームレンズ付オートフォーカス全自動35mmカメラ
画面サイズ	24×36mm
レンズ	コニカズームレンズ、28mm F3.5〜56mm F6.6(7群8枚構成)、スカイライトフィルター内蔵
パワースイッチ	電源ONでオートローディング・シャッターロック解除・液晶点灯、30分後自動的に電源OFF、電源残量マーク表示、電源OFFでレンズ広角に復帰・シャッターロック・液晶消灯・セルフタイマーキャンセル
シャッター	プログラム電子シャッター、電磁レリーズ、1/4〜1/280秒、2秒バルブ付
焦点調節	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲:0.75m〜∞、0.75m以内の近距離ロック(緑ランプ点滅)、フォーカスロック可能、無限遠(∞)撮影可能、
露出調節	CdS受光素子使用のプログラム自動露出調節
露出連動範囲	ISO 100:f=28mm EV5.5(F3.5・1/4秒)〜EV16.5(F18・1/280秒) f=56mm EV7.3(F6.6・1/4秒)〜EV16.5(F20・1/230秒)
フィルム感度	自動設定(ISO 25〜ISO 3200)
ファインダー	実像式ズームファインダー、倍率0.35〜0.7倍、オートフォーカスフレーム、近接修正マーク、緑ランプ:AF、AEロック時点灯、近距離ロック時点滅、赤ランプ:フラッシュ発光時、未充電時点灯、低輝度警告時点滅
フラッシュ	手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、 連動範囲(ISO 100):0.75m〜5.3m (f=28mm)、0.75m〜2.8m (f=56mm)、発光間隔:約3秒
モード切替え機構	フラッシュ自動発光→フラッシュON→フラッシュOFF→セルフタイマー→無限遠撮影→クローズアップ撮影の6モードを循環　液晶パネルに表示
セルフタイマー	電子式、作動時間:約10秒、赤ランプが7秒間点灯した後3秒間点滅　途中解除可能
クローズアップ	0.5m〜0.75m
スナップモード	f=28mm、撮影距離:日中晴天時1m〜5m、くもり日・室内1m〜3m、約2コマ/秒の連写可能、2コマセルフタイマー撮影可能、フラッシュ自動発光のほか、フラッシュON、フラッシュOFFとの組合せ可能
フィルム給送	電動式、パワースイッチでスタートするオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了でオートリターン、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルム枚数計	順算式、液晶パネルに表示
オートデート	液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2019年までの年月日・日時分・写し込みなし・月日年・日月年を表示、秒単位まで調整可能、液晶パネルに常時表示
撮影可能本数	50%フラッシュ発光のとき:約35本(24枚撮りフィルム)
電源	リチウム電池(2CR5:6V)1コ、オートデート用としてリチウム電池(CR2025:3V)1コ
大きさ・重さ	134×73×60mm、365g(電池別)

上記性能については当社試験条件によります。＊製品の仕様、外観は予告なく変更することがあります。